

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	令和7年3月31日	
横断的な課題	ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり						
地域重点政策	ものづくり・観光・農林業振興					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	ソーシャルメディアを活用した観光PR事業				電話	0266-57-2955(内線2111)	
					E-mail	suwachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	歴史・文化・食・アクティビティなど観光資源の結びつけで地域の魅力を高め、観光地域ブランドの向上を図るとともに、滞在型観光を推進する。					
	現状と課題	諏訪地域は首都圏に近接する好条件から観光地利用者の約7割が県外客であるが、通過型・立ち寄り(日帰り)観光地で一人当たり観光消費額が県平均より低い。また、外国人延泊泊者数が全県の2%とインバウンド誘客に課題がある。これらに対し、各主体が商品造成やプロモーションに取り組んでいる中で、R5に開催したインバウンドセミナーの参加者アンケートにおいて、地域の事業者からは効果的なPRを求める声が多く寄せられた。従来のPR手法に加え、旅先選択に影響力があるとされるソーシャルメディアを活用し、観光客目線から地域の観光資源を結びつけた滞在型観光の提案が求められている。					
	内容 (変更後の内容)	1 国内外に向けた滞在型観光の魅力発信 インフルエンサーの発信力を活用し、ソーシャルメディアを通じて諏訪地域の滞在型観光地としての魅力を発信する。 【発信媒体】Instagram、ブログ等のソーシャルメディア 【想定する誘客ターゲット】国内の小グループ(ファミリー等)、国外の訪日旅行への関心が高い層 【内容】ターゲット層に影響力のあるインフルエンサーを招聘し、実際に諏訪地域に滞在・観光してもらい、その魅力をインフルエンサー自身が活用しているソーシャルメディアを通じて発信してもらう(発信するコンテンツ等の作成もインフルエンサーが担当)。作成されたコンテンツについては、様々な発信媒体(局のSNS、GoNAGANOのSNS等)や局主催のイベントで二次拡散を行う。また、視聴者の訪問・滞在意欲、ニーズを調査し、その結果を地域の関係者と共有し、インフルエンサーを活用したPRの有効性を検証すると同時に諏訪地域における滞在型観光活性化に効果的な地域資源を洗い出し、それらを組み合わせた提案内容の検討につなげる。 2 冬季誘客に向けたモデルコース造成(変更後の内容) 【内容】観光客の入込が少ない冬季誘客に向け、1で発信したコンテンツのうち、冬季コンテンツを分析のうえ、冬に訪れたいモデルコースを造成するとともに、インフルエンサーによるファミツアーを実施し、第三者の立場から検証を行う。関係者等を対象とした報告会にてインフルエンサーから旅行先としての魅力や課題等について、直接フィードバックを受ける機会を設ける。					
	事業期間	R6.4 ~ R7.3					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	ソーシャルメディアを活用した観光PR事業	業務委託	2,528,900				
		選定評価委員・報告会講師謝金	33,075	選定評価委員@3,150×3.5H×3人 ※源泉徴収あり			
		選定評価委員・報告会講師旅費	5,080				
		報告会資料作成	32,274	コピー用紙代、コピー機使用料等			
合計	2,599,329						
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	コンテンツの視聴数(令和7年2月14日時点)		390万以上	415万	● 達成		
	視聴者訪問意欲		80%以上	99%	○ 一部達成		
	モデルコース満足度		80%以上	92.50%	○ 未達成		
事業実績・成果	【事業実績】 観光消費額向上とインバウンド誘客のため、インフルエンサーCheesie氏のInstagram及びFacebookにて動画を5本投稿した。 また、冬季誘客に向けたモデルコースを造成し、Cheesie氏によるインバウンド目線の評価を実施した。 加えて、1月21日(火)に事業報告及び観光事業者向けのセミナーを開催した。 【成果】 コンテンツの視聴回数は415万回であり、目標値を上回る視聴があった。中でも、ちの旅のヤマウラスティを紹介した動画の再生回数が最も多く、外国人からは地域に昔から残る風景や文化に高い注目が集まることが分かった。 また、事業報告会では、事業者が課題を感じている情報発信にコミットした内容とすることができた。(参加者アンケートにてやや満足・満足の回答が100%) その他、商品の価格決定の参考になったという声もあり、観光消費額向上に資することができた。						
	今後の方向性	引き続き、観光消費額の向上、インバウンド誘客を目指し、情報発信を継続していく。					